



京都市立西京極中学校 学校だより

校是 「自立と貢献」

令和5年度

10月

スポーツの日について

私たちオトナ世代だと、「スポーツの日」というより「体育の日」というほうがしっくりきます。さて、2020年に名称が変更になったこの「スポーツの日」について少し調べてみました。

「体育の日」が制定された年（1966年）の2年前1964年に、東京オリンピックが開催されました。この開会式が10月10日であったことにちなんで、この日が国民の祝日となりました。1964年は東海道新幹線が開業した年でもあり、日本はいわゆる高度経済成長期の真っただ中でした。

「スポーツの日」と名称変更されたのは、まだ記憶に新しい東京オリンピック（2020年⇒コロナで2021年に延期）がきっかけです。「体育」というと学校教育のイメージですが、「スポーツ」という言葉によって、もっと広く自発的に楽しむイメージを持たせたかったようです。

そもそも「スポーツ」の語源は、ラテン語の「deportare」といわれており、もともとの意味は「運び去る」だそうです。それが転じて、「義務からの気分転換、元気の回復、気晴らし」などの意味が込められています。

「国民の祝日に関する法律」という法律の第2条に、「スポーツの日」の趣旨について次のように書かれています。

スポーツを楽しみ、他者を尊重する精神を培うとともに、健康で活力ある社会の実現を願う。

※本校の校是とちょっと共通点がありますね・・・。

10月は、学校の体育祭だけでなく、地域の区民運動会もあります。中学生のみなさんも町内会の一員として参加し、「元気の回復、気晴らし」をしてみてもどうでしょうか。

NKG祭にむけて

合唱コンクール10月5日（木）

体育祭 10月19日（木）

合唱コンクールは、ここ数年コロナの影響で中止になったり学年ごとの開催になったりしていましたが、今年は全校そろって長岡記念文化会館で開催できることになりました。ここから新たな西京極の歴史が始まる予感がしています。合唱コンも体育祭も、校是「自立と貢献」を学ぶチャンスです。みなさんのひたむきな頑張りやステキな笑顔を期待しています。



10月行事予定

1	日	
2	月	
3	火	合唱タイム 検尿
4	水	合唱タイム 検尿 体育祭学年別練習
5	木	NKG祭（合唱コンクール）
6	金	SC
7	土	
8	日	
9	月	スポーツの日
10	火	学習確認プログラム（全学年）
11	水	評議・専門委員会
12	木	体育祭予行練習
13	金	SC
14	土	
15	日	
16	月	給食申込締切
17	火	生徒会選挙活動（～26日）
18	水	体育祭準備（午後）
19	木	NKG祭（体育祭）
20	金	（体育祭予備日） SC
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	生徒会役員選挙
27	金	SC
28	土	
29	日	
30	月	後期時間割開始 教育相談、3年三者懇談
31	火	教育相談、3年三者懇談

第3回定期考査・・・11月15～17日

2年チャレンジ体験・・・11月28日～12月1日

全国学力・学習状況調査の結果より

(1) 各教科の平均正答率について

今年度は、国語・数学・英語について調査がありました。本校の平均正答率は、すべての教科について全国平均を下回っていましたがその差はごくわずかで、「全国平均とほぼ同じくらい」と言える結果でした。

各教科の分析結果については、来月の学校だよりで詳しくご報告します。

(2) 生徒質問紙から見てくる成果と課題

① 自尊感情について

「自分もやればできる」という自信をもってさまざまなことに取り組んでほしいと願っていますが、本校生徒の自尊感情は全国平均と比べてやや低い傾向にあります。

【質問】「自分にはよいところがあると思いますか」⇒ 肯定的な回答・・本校 72.2%、京都府 78.1%、全国 80.0%

本校では、あるべき生徒の姿を「自分で考え、決定して、行動する」としています。それを支えるために、教職員のあるべき姿は「生徒の声を聴き、認めて、ほめる」としています。

【質問】「先生は、あなたのよいところを認めてくれていますか」⇒ 肯定的な回答・・本校 89.1%、京都府 86.5%、全国 87.3%

【質問】「先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれていますか」

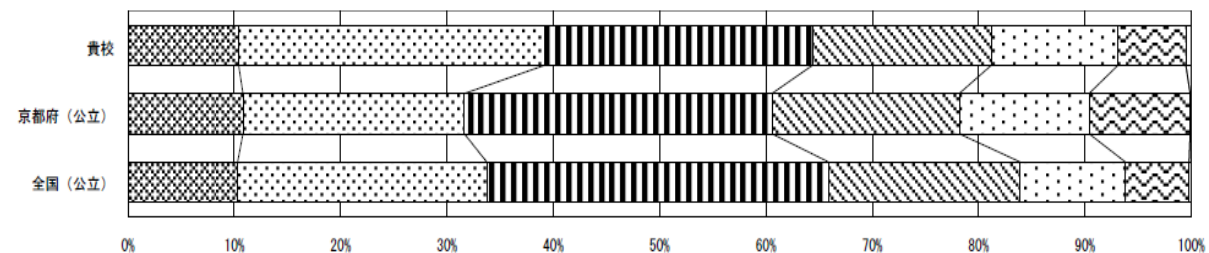
⇒ 肯定的な回答・・本校 94.5%、京都府 87.2%、全国 88.9%

上の2つの質問についての肯定的な回答は、いずれも全国平均を上回っていました。

子どもはさまざまな成功体験から自信を深めていきます。しかし、成功体験の裏には、たくさんの失敗体験もあるはずで、最近の子どもたちを見ていると、必要以上に失敗を怖がる（避ける）傾向があるように思います。これは子どもだけでなく私たち大人の影響かもしれません。様々な機会に、失敗を恐れず、むしろたくさんの失敗を経験させて、その中から成功することの喜びを経験させていきたいです。

② 家庭での勉強について

【質問】「学校の授業以外に、普段1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか」⇒（1段目が本校です。）



上の表を見てもらってもわかるように、多くの生徒は自宅でもそこそこの時間勉強しているようです。（約4割の生徒が2時間以上、また6割以上の生徒が1時間以上勉強しています。）「勉強時間と正答率」の相関関係は、全国的には大きな値を示します。（つまり、勉強時間が長い生徒の方が、正答率が高くなる傾向がある。）「そりゃそうだろう」という感じですね。ところが、本校生徒だけで見てみると、「勉強時間と正答率」の相関は小さいのです。つまり、勉強時間が長いからといって正答率が高いとはいえないのが本校の特徴です。

これは何を意味しているのか・・・。「勉強の要領がわからないまま、とりあえず机に向かう時間だけが過ぎていく」、「勉強したつもりになっている」生徒が多いのかもしれませんが。授業の中でも「家庭学習の要領」については話してきたのですが、さらに詳しく伝えていく必要を感じています。

